

令和5年度第4回江田島市公共交通協議会（令和6年3月12日）

協議会議事要点録

会議名	令和5年度第4回江田島市公共交通協議会			
日時	令和6年3月12日（火）13時30分～14時25分			
場所	大柿市民センター集会室			
傍聴者	4名			
出席者	広島商船高等専門学校	教授【議長】	岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	藤田 睦	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	畠藤 秀樹	○
	広島県旅客船協会	会長	仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	江郷 政毅	欠席
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	濱谷 一眞	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	堂野崎 平	○
	江田島市女性会連合会	会長	片山 恵美子	○
	江田島市観光協会	会長	伊藤 富美雄	○
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	小山 俊明	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	中井 孝司	○
	広島県	交通対策担当課長	藤井 剛	代理出席 石田 大輝
	江田島警察署	地域交通課長	井上 雄介	代理出席 中山 豊
	江田島市	副市長【会長】	土手 三生	○
	江田島市	企画部長	畑河内 真	○
	江田島市	土木建築部長	西川 貴則	○
1 開 会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会長	土手会長あいさつ			
3 議 題				

(1) 報告事項	
ア 路線バスの収益率、運行系統、運行回数及び時刻について（資料1-1～2）	
議長	<p>それでは、議題の報告事項に入ります。</p> <p>まずは、「路線バスの収益率、運行系統、運行回数及び時刻」について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	－資料1-1～2により説明－
江田島バス	<p>収支について、コロナ前（2018.10～2019.9）と比較して、ほぼ100%戻っている状況。広島電鉄では、運賃改定を行ってようやく9割に戻っている状況。江田島バスが100%まで戻っている状況を見ると、順調な回復と見ている。要因として、リモートワークで通勤する方が元々少なかったこと、そして、ダイヤ改正による航路との接続改善を図ったもの。また、低床バスを増やしているが、高齢の方でも乗り降りしやすくなったことが挙げられる。収支では改善が見られた一方、費用面では物価や人件費は上がっている。収入は上がってきている反面、費用面が上がっているため、収支で考えると油断はできない。</p>
議長	<p>ただいま、事務局及び江田島バスから報告がありました。</p> <p>本件について、御質問及び御意見などはございませんか。</p>
委員	<p>経常費用については、昨年より約700万円下がっている。ダイヤを改正して1仕業削減できたことによるものか。それとも、修繕費等がなかったためか。</p>
江田島バス	<p>大きなところでは、バスを購入するタイミングに影響している。減価償却の費用の被りが少なかったことも要因の一つである。</p>
委員	<p>収支率について、江田島バスでは何%になることが目標なのか。</p>
事務局	<p>現状では収支率100%を超えている系統は1つあるのみで、その他は全て赤字である。理想としては100%を超えるというのが目安である。区間によっては乗る人数や距離によって費用がかかるので、系統別の収支率を出している以上は100%を目指すこととなる。</p>
議長	<p>その他、本件について、御質問及び御意見などはございませんか。</p>
各委員	(質問・意見等なし)
議長	<p>ないようでございます。</p> <p>それでは、「路線バスの収益率、運行系統、運行回数及び時刻」について、終了します。</p>
イ 中町／宇品航路に係る指定管理者のモニタリングについて（資料2-1～2）	
議長	<p>続いて、「中町／宇品航路に係る指定管理者のモニタリング」について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	－資料2-1～2により説明－
議長	<p>ただいま、事務局から報告がありました。</p> <p>本件について、御質問及び御意見などはございませんか。</p>
各委員	(質問・意見等なし)

令和5年度第4回江田島市公共交通協議会（令和6年3月12日）

議長	ないようでございます。 それでは、「中町／宇品航路に係る指定管理者のモニタリング」について、終了します。
ウ 江田島市公共交通支援補助金について（資料3）	
議長	続いて、「江田島市公共交通支援補助金」について、事務局から報告をお願いします。
事務局	－資料3により説明－
議長	ただいま、事務局から報告がありました。 本件について、御質問及び御意見などはございませんか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	ないようでございます。 それでは、「江田島市公共交通支援補助金」について、終了します。
エ 令和6年度江田島市当初予算について（資料4）	
議長	それでは、協議事項に移ります。 「令和6年度江田島市当初予算」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料4－1～3により説明－
議長	ただいま、事務局から説明がありました。 本件について、御質問及び御意見などはございませんか。
委員	各種の予算を見ても、補助金が増えているものが多く、将来的に市の財政として大丈夫なのか。報告事項1の中でも欠損額の大きなところから検討していかないとますます赤字が増えていき、市の支出も増えていくこととなるが、市の考えを聞きたい。
事務局	公共交通においては、まず令和4年12月にダイヤ改正と大きな動きがあった。バスの会計年度としては10～9月であり、次回の数値は新ダイヤで運行した実績となる。委員のおっしゃる通り、公共交通協議会においても、市においても予算段階で増えていく所は、本会の場においても検討していかなければいけない。
議長	予算を単純に減らすだけでは不便になる一方になる。その折り合いを市民とどう付けるかが今後の課題になる。 その他、御質問及びご意見などはございませんか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	ないようでございます。 それでは、「令和6年度江田島市当初予算」について、終了します。
（2）協議事項	
ア 令和6年度事業計画及び歳入歳出予算（案）について（資料5）	
議長	続いて、協議事項です。「令和6年度事業計画及び歳入歳出（案）」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料5－1～2により説明－
議長	ただいま、事務局から説明がありました。

令和5年度第4回江田島市公共交通協議会（令和6年3月12日）

	本件について、御質問及び御意見などはございませんか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	ないようでございます。 それでは、「令和6年度事業計画及び歳入歳出（案）」について、終了します。
イ その他	
議長	その他として、広島県及び事務局、江田島バス株式会社より報告がある旨を伺っています。広島県よりお願いします。
広島県	その他の資料としてお配りしている「広島県地域公共交通ビジョン（素案）の概要」について説明する。 今年度末、広島県地域公共交通ビジョンの策定となっている。概要 P13 及び素案 P79～に記載のビジョンの推進体制について、本市に関係ある箇所として、エリア分科会を3エリアに分けているが、その中の広島エリアに該当する。この場において、圏域の公共交通に係る協議を行っていく。また、協議内容は市公共交通協議会にも共有していく。 各地域のマネジメントの支援については、本市のマネジメント人材やデータを活用して、交通政策に活かしていただきたい。 県 HP に地域公共交通ビジョンの素案を掲載しているのので、ご覧いただきたい。
議長	その他、ございませんでしょうか。
事務局	おでかけ無料乗車デーのポスターデザインをお配りしている。今年度のおでかけ無料乗車デーの実施について、第1回の本会にて平日と休日1回ずつの2回を予定していることを協議した。1回目は7月17日の海の日に実施し、今回は3月22日（金）に実施する。この日は県立大柿高等学校の入学説明会となっており、これから公共交通の利用を検討する学生が多く移動する日である。また、新生活の新たな移動需要を見越して、この機会に利用を検討してもらうためのもの。実施日に合わせて、多方面で周知を図っていく。
議長	その他、ございませんでしょうか。
江田島バス	第1回の本会にて、運転手が不足しており、知人等がいれば紹介してもらいたいと説明をさせていただいた。昨年1月～今月までの状況としては、合計で8人が退職し、9人が入社した。人材的な運営は安定してきたので報告させていただく。
議長	その他、ございませんでしょうか。
委員	資料の送付が遅い。事前に確認したいので、もう少し早く送付していただきたい。
事務局	昨今、郵便に時間がかかることが見受けられる。事務局からの資料としても、確認いただける時間を設けられるよう努める。
議長	その他、ございませんでしょうか。
各委員	（意見等なし）
議長	ないようでございます。

令和5年度第4回江田島市公共交通協議会（令和6年3月12日）

4 その他	
事務局	次回の本会については、令和5年度の事業報告及び決算を議題と予定している。日程が決まり次第、委員の皆様にお知らせする。来年度に差し当たり、異動等もあるかと思うので、改めて委員について確認させていただく。
議長	その他、ございませんでしょうか。
委員	議題1について、赤字系統が多いことが挙げられた。広島県地域公共交通ビジョン（素案）概要 P11、課題に「車両の大きさが実態に見合っていないコミュニティバスが増えている。車両費の負担がネックとなり、運行形態の見直しが進んでいない」とある。住民から運行するバスを見て、乗客が少なく、小型バスに車両を変えてはどうかと声を聞く。このあたりも経費に影響していると思うので、検討いただきたい。
事務局	路線バスを活用してスクールバスの送迎にも利用している。江田島バスでも計画的にバスを購入している考えがあるので、今後はEVバス等の購入も協議しながら考えていきたい。
議長	本市に限らず、他市町でも利用者が多い公共交通ほど赤字が多いと言われている。混雑する時間帯に車両を合わせているため、混雑時以外の時間帯では、車両は大きい利用者がいないといったケースが課題とされている。最適化は公共交通全体の課題である。 その他、ございませんでしょうか。
各委員	（意見等なし）
議長	ないようでございます。
5 閉会	
議長	それでは、以上をもちまして、本日の協議会を閉じさせていただきます。誠にありがとうございました。